

校内SSH生徒研究発表会

11月3日(土)

第3回こまつ研究サポートプログラム

理数科2年生の口頭発表による校内SSH生徒研究発表会が行われました。1年生の3月にテーマを設定し、2年生の4月から研究に取り組んできました。審査員の大学の先生方から鋭い指摘や温かい励ましをいただきました。今後の研究の参考にし、さらに研究を深めていきます。

研究テーマと発表順

時間	テーマ	分野
13:00~13:12	9班 ゴキブリの嗜好性による学習効果の測定	生物分野
13:12~13:24	8班 アボカドが生物に与える効果の検証	生物分野
13:24~13:36	1班 証明の意義と公理系から眺める数学	数学分野
13:36~13:48	6班 金属イオンとアリザリンS	化学分野
13:48~14:00	4班 ライデンフロスト効果の解析とその応用	物理分野
14:10~14:22	5班 糸電話の共鳴振動数に影響をおよぼす要因について	物理分野
14:22~14:34	3班 バットの振動と芯の位置について	物理分野
14:34~14:46	2班 チェック柄の印象の移り変わり	数学分野
14:46~14:58	10班 金属イオンによるゾウリムシの操作	生物分野
14:58~15:10	11班 偏西風波動の3次元解析	地学分野
15:10~15:22	7班 ルミノール反応による発光の効率	化学分野

審査員の先生方

田中 忠芳 准教授	金沢工業大学 基礎教育部
伊藤 秀一 教授	金沢大学 理工研究域 数物科学系
井村 久則 教授	金沢大学 理工研究域 物質化学系
岩見 雅史 教授	金沢大学 理工研究域 自然システム学系
長谷部 徳子 教授	金沢大学 環日本海域環境研究センター
若山 悟 指導主事	県教育委員会 学校指導課



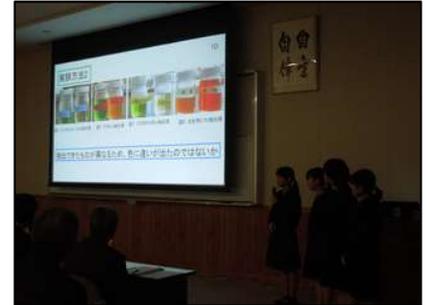
審査員の先生方の紹介の様子



校長先生の挨拶



ゴキブリの嗜好性による学習効果の測定



アボカドが生物に与える効果の検証



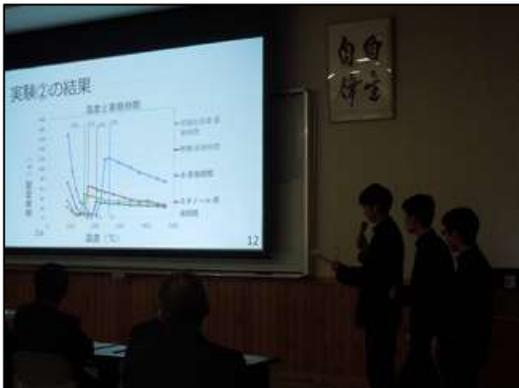
証明の意義と公理系から眺める数学



金属イオンとアリザリンS



糸電話の共鳴振動数に影響をおよぼす要因について



ライデンフロスト効果の解析とその応用



審査員の先生方の様子



バットの振動と芯の位置について



チェック柄の印象の移り変わり



金属イオンによるゾウリムシの操作



ルミノール反応による発光の効率



偏西風波動の3次元解析→



審査員の先生方の講評の様子